

# 環境活動報告

(2022年4月～2023年3月)

## 地球温暖化防止 (CO<sub>2</sub>排出削減) に関する取り組み：数値管理

### ◆地球温暖化防止自主行動計画

- ①常に、前年度よりも温室効果ガス (CO<sub>2</sub>) の総量削減を目指し、排出数値管理や運用取り組みを行います。
- ②パルシステムグループの一員として、パルシステムグループ温室効果ガス削減計画に参加し、グループ全体で目標達成に取り組みます。  
目標：2030年までに、2013年比で26%以上削減
- ③地域性・独自性などの特色ある取り組みにより、地域・組合員またパルシステムグループ、社会全体での温暖化防止・環境取り組みの推進に貢献していきます。

パルシステム山梨では2009年8月に地球温暖化防止自主行動計画を策定し、パルシステムグループ全体の計画と連動しながら、二酸化炭素排出量の削減に向けた取り組みを進めてきています。パルシステムグループではこれまでの政策等の見直しを行い、「環境・エネルギー政策」および政策に基づく「2030アクション」を2023年3月末に制定しました。これに連動した計画に変更しますが、本報告は2022年度を対象としていることもあり、従前の計画を記載しています。

また「山梨県地球温暖化対策条例施行規則」に基づく温室効果ガス排出抑制計画への参加（トライアル事業者として）も行っています。

### 【参考：パルシステムグループ温室効果ガス削減計画 要旨】

- (1)パルシステムグループの事業活動に伴うエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出総量を2030年度までに2013年度比で26%以上削減（会員生協総事業高合計1億円当たり排出量は40%削減）します
- (2)サプライチェーン全体での温室効果ガス削減を推進します
- (3)環境保全型の農林水産業と自然環境保全を推進します
- (4)組合員家庭の省エネルギー化を促します
- (5)再生可能エネルギーを広げます

2022年度の取り組み結果は以下のようになりました。

二酸化炭素排出量（電気・燃料・施設ガス）	622,095kg-CO <sub>2</sub>
自主取り組みによるCO <sub>2</sub> 削減量	△345kg-CO <sub>2</sub>
合計	621,750kg-CO <sub>2</sub>

※電気のCO<sub>2</sub>換算係数には、2021年度排出係数（パルシステム電力0.078、東京電力0.457、中部電力0.449）を使用  
自主取り組みによる削減量はエコ通勤（自転車）による通勤での燃料使用削減です。

2022年度の二酸化炭素排出量は前年比で約108.4%と増加しました。

主な要因は、長野地域への配送件数の増加による配送車両燃料での排出量増加で、甲斐センターでは前年比113.4%となり、全体でも108.8%と増加しました。

電力使用量は、前年比で103.7%と微増していますが、また97.5%がパルシステムグループの子会社「パルシステム電力」の電力使用であり、CO<sub>2</sub>排出係数が大手電力会社と比較し、低めの数値であることから、全体での二酸化炭素排出量は2013年度比で92.4%に抑えられています。



当生協の電力の契約状況は下記の通りとなっています。

	2022年度
パルシステム電力	甲斐センター、一宮センター、西桂センター、本部事務所
東京電力	フェアトレードショップぱるはぴ
中部電力	諏訪拡大事務所

◆2022 年度 太陽光発電実績

発電実績は下記のとおりです。

	甲斐C	一宮C	西桂C	合計
公称最大出力 (kw)	21.84	3	52.3	77.14
発電量 (kWh)	25,917	4,046	59,299	89,262
売電量 (kWh)	—	—	46,147	46,147
CO2削減量 (kg-CO2)				3,363

※電気の CO<sub>2</sub> 換算係数は、事業所の使用電力を考慮し、0.078 を使用しました。

※CO<sub>2</sub>削減量は自家消費分のみです。(西桂 C の発電量は全量売電 42.3kW と、自家消費 10kW を加算した量)

パルシステムグループでの取り組み など

◆プラスチック削減に関する取り組み

ドキュメンタリー映画『マイクロプラスチック・ストーリー ～ぼくらが作る 2050 年～』のオンライン視聴を組合員に呼びかけ、35 件・80 人の視聴申し込みがありました。

商品関連では「お料理セット」のトレーを紙製に変更し、プラスチック使用量は 25 g →7 g へと削減しました。また「り・さいくりんぐ」トイレトペーパーの包材持ち手部分の縮小などに取り組みました。

◆ビーチクリーンへの参加

隣県のパルシステムグループ生協では、ごみ・マイクロプラスチック問題への取り組みの一環としてビーチクリーンの企画を行っています。桂川・相模川、また富士川など流域であることから、パルシステム山梨の役職員が 4 月に神奈川県、3 月に静岡県で行われた企画に、それぞれ参加しました。



静岡でのビーチクリーン

◆その他の取り組み

「うちエコ診断 Web 受診キャンペーン」「STOP! 海洋プラスチック汚染・地球温暖化 365 日アクション」「我が家の食品ロス削減アクション」「リユースびん回収キャンペーン」「3.11 キャンドルナイト投稿キャンペーン」等に取り組みました。

活動・地域諸団体との連携 など

◆課題推進チーム「環境」の取り組み

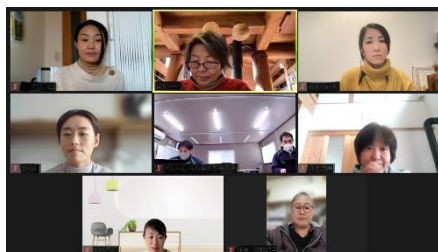
2022 年度、組合員 3 名・役職員 5 名で活動した課題推進チーム「環境」では、ごみ削減について考え、地球温暖化防止につながる暮らし方へ意識を向ける取り組みを進めました。

9 月、都留文科大生と、ごみ削減・地球温暖化をテーマにした交流

2 月、ごみについて映像・スライド等で学び、参加者がグループで語り合う企画

2 月、山梨県内で環境についての活動をしている女性 2 名のゲストとのトーク

など、いずれもオンラインとなりましたが開催し、これらの報告、また「生ごみ」削減について詳しく、取り上げた「通信」を発行し、取り組みを広く伝えました。



オンラインでのトーク企画



通信

◆環境バイザー・出前講座

「牛乳パックからパルプを取り出そう!」「自然派!おそうじ講座」「森林について学ぼう」について、引き続きのコロナ禍ではありましたが、オンラインも活用して、4件の実施となりました。

◆「我が家の田んぼ塾」

コロナ感染状況を見極め、対策を取りながら、米作り体験企画に取り組みました。10家族参加。



田んぼ塾・稲刈り

◆パブリックコメント・意見書の提出

1月に、政府の総合資源エネルギー調査会 原子力小委員会がまとめた「原子力政策の基本原則と政策の方向性・アクションプラン」(案)に対し、パブリックコメント4件を提出し、核燃料サイクルを前提とした原子力から、持続可能性の高い再生可能エネルギーを中心とする政策への転換を求めました。

◆広報

やまなしプラスチックスマート連絡協議会において、プラスチック削減・排出抑制の取り組みを報告しました。また YAMANASHI SDGs FORUM2023 への出展(リユース・リサイクル/プラ削減)や、テレビ番組の取材などを通し、取り組みを広くPRしました。



テレビ取材対応

◆環境パートナーシップやまなし

「エコライフお絵かき・川柳コンテスト2022」に協賛し、パルシステム山梨も賞を設けました。

◆「やまなしクールチョイス県民運動」へ参加

山梨県の「やまなしクールチョイス県民運動」に事業者として、クールチョイスサポーター登録をしています。

◆第24回ライトダウンやまなし2022

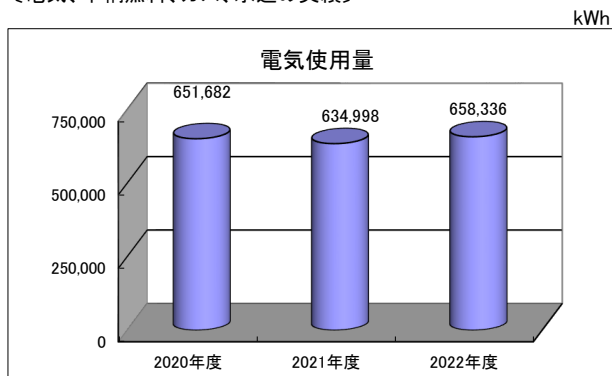
2022年11月に実施された「ライトダウンやまなし」に、引き続き実行委員会に参加し、消灯呼びかけやイベントの実施に協力しました。

◆各種会議への参加

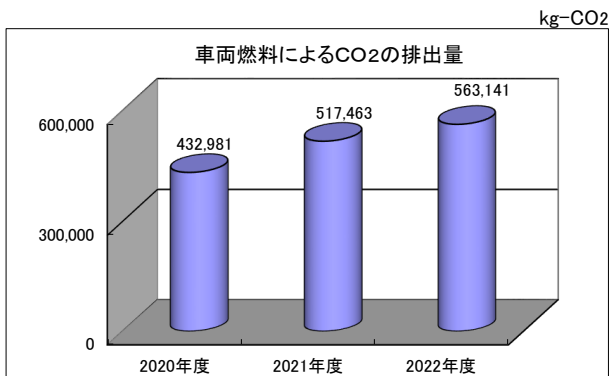
甲府市温暖化対策地域協議会、中央市温暖化対策地域協議会、やまなし木質バイオマス協議会等に参加しています。

## 2022年度電気、車両燃料、ガス、水道の実績

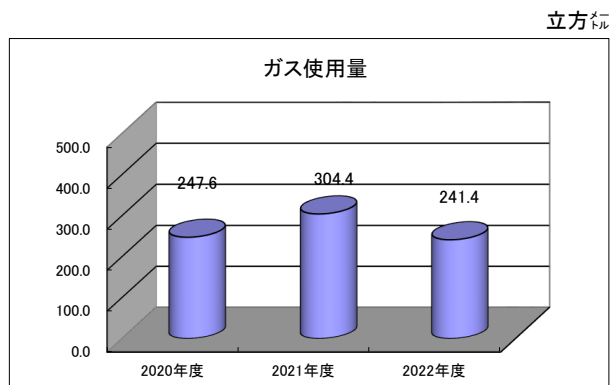
[電気、車両燃料、ガス、水道の実績]



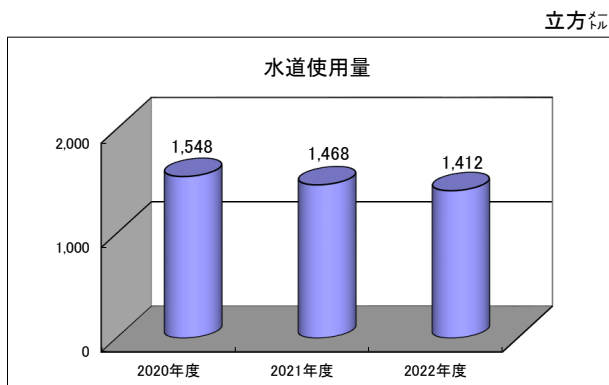
2020年度	2021年度	2022年度
651,682	634,998	658,336



2020年度	2021年度	2022年度
432,981	517,463	563,141

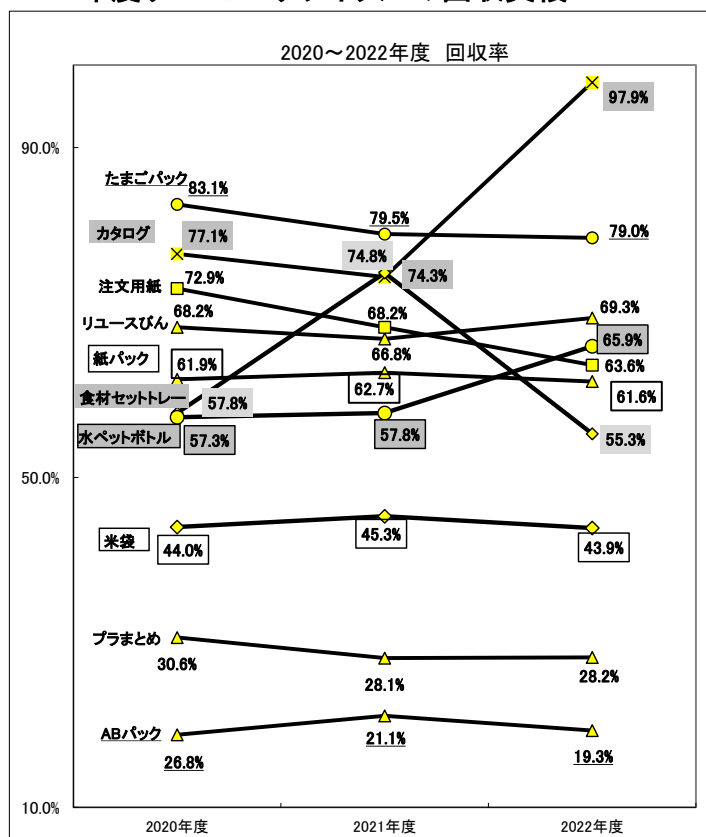


2020年度	2021年度	2022年度
247.6	304.4	241.4



2020年度	2021年度	2022年度
1,548	1,468	1,412

## 2022年度リユース・リサイクルの回収実績



### 2020~2022年度回収率

	2020年度	2021年度	2022年度
リユースびん	68.2%	66.8%	69.3%
紙(牛乳)パック	61.9%	62.7%	61.6%
ABパック	18.8%	21.1%	19.3%
商品案内(カタログ) ※1	77.1%	74.3%	97.9%
注文用紙	72.9%	68.2%	63.6%
プラまとも袋	30.6%	28.1%	28.2%
たまごパック	83.1%	79.5%	79.0%
食材セットトレー(紙) ※2	57.8%	74.8%	55.3%
米袋	44.0%	45.3%	43.9%
水ペットボトル	57.3%	57.8%	65.9%

※1 2022年度より重量計算式を変更  
 ※2 2022年内で順次プラー紙へ変更

### リユース・リサイクルにおける行政費用の削減効果(推計)

	回収重量 kg	資源化費用削減額 円
リユースびん	26,184	1,122,378
紙(牛乳)パック	14,291	612,591
ABパック	3,042	130,397
カタログ	533,930	22,887,189
注文用紙	8,898	381,417
プラまとも袋	11,598	497,154
たまごパック	19,125	819,803
食材トレー	2,369	101,527
米袋	956	40,975
水ペットボトル	4,481	192,080
合計		26,785,513

パルシステム山梨で組合員のみなさんから回収したリユース・リサイクル容器や包材の回収重量をあわせて、行政で一般廃棄物として処理した場合の費用を掲載しています。自前でリユース・リサイクルすることで、行政の廃棄物処理に関連する費用のうち、2022年度は約2,678万円相当を削減した、と推計されます。

※山梨全体での、ごみ処理量に対するごみ処理費用(推計)は、42.87円/kg  
 (参考資料:環境省HP 一般廃棄物処理実態調査結果 令和3年度調査より)